**【２】派遣先における研究計画**適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。様式の変更・追加は不可です。

（海特 申請内容ファイル）

**(1) 研究の概要及び研究の位置づけ**本項目は1頁に収めてください。

・まず、研究課題名及び研究の概要を500字程度で記入してください。

・続けて、海外特別研究員として取り組む自身の研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。

研究課題名：●●●●●

**【２】派遣先における研究計画（続き）**※適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。様式の変更・追加は

不可です。

**(2) 研究目的・内容等**本項目は２頁に収めてください。

① 海外特別研究員として取り組む研究計画における研究目的、研究方法、研究内容について記入してください。

② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、年次計画を示し、具体的に記入してください。研究計画が想定通り進まなかった場合の対応方法があれば、あわせて記入してください。

③ 研究の特色・独創的な点（先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等）にも触れて記入してください。

④ 共同研究の場合には、申請者が担当する部分を明らかにしてください。

（【２】研究計画（２）研究目的・内容等の続き）

**【３】外国で研究することの意義（派遣先機関・受入研究者の選定理由）**

※各事項の字数制限はありませんが、全体で１頁に収めてください。様式の変更・追加は不可です。

　① 申請者のこれまでの研究と派遣先機関（受入研究者）の研究との関連性について記述してください。

　② 国内外の他研究機関（研究者）と派遣先機関（受入研究者）とを比較し、派遣先で研究する必要性や意義について明らかにしてください。（フィールドワーク・調査研究を行う場合、派遣先地域で研究する必要性や意義を中心に述べても構いません。）

**【４】人権の保護及び法令等の遵守への対応**　本項目は１頁に収めてください。様式の変更・追加は不可です。

・本欄には、「【２】派遣先における研究計画」を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究や安全保障貿易管理を必要とする研究など指針・法令等（国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む）に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を記入してください。

・例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査（個人履歴・映像を含む）、国内外の文化遺産の調査等、提供を受けた試料の使用、侵襲性を伴う研究、インフォームド・コンセントが必要な研究、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験、機微技術に関わる研究など、研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となりますので手続の状況も具体的に記入してください。

・また、既に海外において研究を開始している者で、当該国の法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合は、その対策と措置をどのように講じているのかを記述してください。該当しない場合には、「該当しない」と記載してください。

**【５】研究遂行力の自己分析**　本項目は２頁に収めてください。様式の変更・追加は不可です。

・日本学術振興会海外特別研究員制度は、我が国の学術の将来を担う国際的視野に富む有能な研究者を養成・確保することを目的としています。この目的に鑑み、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、研究遂行力について分析してください。

*（注）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*・根拠となるこれまでの研究活動の成果物（論文等）がある場合には、まず成果物の一覧を掲載し、見出し番号を付してください。続く文章では、適宜成果物に言及しながら（言及の際には見出し番号で示すこと）記入してください。*

*・成果物はそれらを同定するに十分な情報を記入してください。*

*・学術論文の場合：著者、題名、掲載誌名、巻号、頁、発行年を記載し、査読の有無を明らかにしてください。投稿中で採録が決定していない場合は、「投稿中」と記載してください。*

*・研究発表の場合：著者、題名、発表した学会名、場所、年・月を記載し、口頭・ポスターの別を明らかにしてください。*

*【成果物一覧の例】*

*１．論文　・・・・・*

*２．論文　・・・・・*

*３．研究発表（口頭）　・・・・・*

*４．受賞*

*・記入にあたっては、例えば、研究における主体性、発想力、問題解決力、知識の幅・深さ、技量、コミュニケーション力、プレゼンテーション力などの観点から、具体的に記入してください。また、観点を項目立てするなど、適宜工夫して記入してください。*

*・なお、研究中断のために生じた研究への影響について、特筆すべき点がある場合には記入してください。*

*・今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素や意欲的に取り組みたいと考えている事項についても記入してください。*

（【５】研究遂行力の自己分析の続き）